

認知症の人への接し方

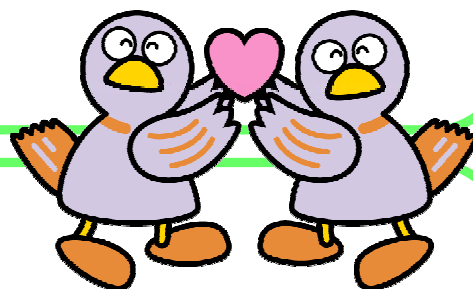
認知症の人であっても、一般の人とのつきあいと基本的には変わりませんが、認知症や認知症の人への正しい理解を持ち、認知症の人が安心して生活できるように支援するという姿勢をとっていただくことをお願いしています。

また、実際に認知症の人と接するときの心構えとして、「**3つの心得**」、「**7つのポイント**」をご紹介します。

認知症の人への対応の心得 “三つの「ない」”

1. **驚かせない**
2. **急がせない**
3. **自尊心を傷つけない**

埼玉県のマスコット コバトン



具体的な対応の7つのポイント

- **まずは見守る**
さりげなく見守り、近づきすぎたり、ジロジロ見たりしない。
- **余裕をもって対応する**
戸惑いや焦りを見せず、自然な笑顔で対応する。
- **声をかけるときは1人で**
複数人で囲むと恐怖心をあおってしまう。
- **後ろから声をかけない**
一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかける。唐突に声かけをしない。
- **相手に目線を合わせてやさしい口調で**
小柄な方の場合、体を低くして目線を同じ高さに合わせる。
- **おだやかに、はっきりした滑舌で**
耳が聞こえにくい高齢者の方も多いのでゆっくり、はっきりを心がける。
- **相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する**
相手を急かしたり、同時に複数の質問をせず、反応を伺いながら会話する。